

Vivienne's diary 2014 年 9~10 月

最後に日記を書いたから、2ヶ月が経ってしまいました。その間私は時間がなくとても忙しくしていました。それで、その間に起こった最も大事なことだけを選んでいきますね。それから簡単に他のことも書いていきます。

しかしその前に、8月の日記からいくつか写真を掲載させて下さい。たくさん写真があり過ぎて、前回載せられなかったから。



この巨大な木は樹齢約 100 年です。木は静的なので、動物より長生きするのもかもしれません。木には外傷も内側が傷つくこともそんなにありません。しかし、もし私たちが細胞を取り替えないでいいよう健康に気をつけるとしたら、それでもなぜ私たちは一生生きられないのでしょうか。



ジョセフィーヌと男の子達。7-8 月の日記を読んで下さい。

それから次に言うことは、私が今までにしたことの中で（ここ2ヶ月という意味ではなく、私の全人生の中でという意味です。）最も重要なことだと思うのですが、とても短い解析で、**資本主義の終焉**と名付けました。それをプリントし、リーフレットにしてデモで配るようにしました。また、私の自伝の最初のページに挟むようにもしました。そうすることで自伝がメッセージを広める手段となるからです。リーフレットの表には、赤と緑の地図で、気候の変動が一度起きると、住める場所はわずかになってしまうことを示しています。

リーフレットは素晴らしいですよ。読んだらすぐに、なぜ資本主義が問題なのか理解でき、全てがそこに繋がっていることが分かるからです。知識は力なり。それが行動になるのです。

10/29（水）：最新の日付から始めますね。9月の初めに戻る前に、どうすれば効率的に、私たちが一丸となって気候の変動との戦っていかけるか、私は24時間考えているのですが、それを皆さんにお伝えしたいからです。

有り難いことに、誰もがこの話をしてくれます。しかしもっと緊急事態だという意識が必要なのです。世界中の政府たちは、私たちを崖っぷちに追いやりようとしています。彼らを止めなければなりません。政府が言うことは何でも馬鹿げています。そして政府がすることは全て間違っているのです。

昨夜友人のポールと電話で話しました。

彼に国連について聞いたかったからです。私は、国連の事務総長のパン・ギムンと話す機会を授かりました。1対1で30分です。しかしそのためにはウィーンまで飛行機で行かないといけません。それでパン・ギムンとの話題を明確にしておいた方が良さだろうと思いました。ポールはアーティストで、ガーデナーでもあります。私は彼を政治哲学者だと思っています。彼は何がなされるべきなのか、どうすればよくなるのかという意見を形作るために、情報を調べるのです。彼は何でも記憶しているようです。

私は彼に、国連を骨抜きにするアメリカの拒否権について聞きました。彼は2つ例を挙げてくれました。1970年代より、世界中の全ての国は、イスラエルのパレスチナ攻撃に反対している。しかし国連会議による招集は毎回アメリカの拒否権により妨害されている。南アフリカでは、ついにアメリカが世界の意見に同意し、拒否権の位置付けを上げた。その時だけ、それがアパルトヘイトを終わらせることになった。私はどのようにアメリカが（そしてアメリカのイギリス同盟が）国連を避けて、違法なイラク戦争をしたのか覚えていません。

しかし私は、国連は良い仕事をしていると知っていますし、やはり敬意を払われるべきものでしょう。国連は世界中で「ワーク・ノット・エイド（援助ではなく仕事）」を運営しています。私たちのアフリカバッグのプロジェクトはこれに連動しています。国連は、エドワード・スノーデンをどこかで保護できたらと私は考えます。パン・ギムンにどれだけの影響力がありますか？

私はウィーンに行くべきかどうか分からないままベッドへ行きました。とにかく行ってみるべきですね。だってパン・ギムンが出席する人身売買反対のカーペットのデザインは、私たちがしたのですもの。だけど、私は必要ではない限り渡航はしないのよ。まだ行くべきかどうかやっぱ決められないわ。

夜中に2、3時間したら目を覚ますことがたまにあるのですが、朝早くに出勤しなくてもよいので、目が覚めてしまうことは問題ではありません。私の会社ですので、時間はフレキシブルです。

頭の中にたくさんのことがあって、一つ考えたらそれが他のことに繋がります。（以前にもお伝えしたように、私は50もの長い引用文を覚えており、それを思い出すのを楽しんでいます。）私はドイツ語を勉強しています。

「difficult(難しい)」という意味の新しい単語「schwierig」を思い出しました。私はそれを文章の中に入れました。「難しい日々が続いています。」と。こ

れが私の心配事である、気候の変動を止めるためには緊急な行動が必要であるという事と組合わさり、それがパン・ギムンに尋ねるべきことの明瞭な答えとなりました。

私は彼に、その心配事について話すことにしました。彼に何ができるのか。彼はみんなに緊急事態なのだとすすんで言ってくれるかしら。川が肥大化していくように、資本主義に反対する意見は増えています。ラッセル・ブランドの言葉の中に「環境を守るために、我々は資本主義を取り壊さなければならない。」という言葉があります。環境を守るために、グリーンエネルギーに転換しなければなりません。今です！政府は資本主義にぶらついています。だから緊縮財政を押し付けるのです。ここで資本主義と言う言葉を使うのはとても重要です。なぜなら、全てのことがどのように繋がっているのか見出すことができるからです。パン・ギムンはこの言葉を使うかしら？別の経済システムになり得るチャンスがあるなんて思いもしなかった人達以外は、だれだってこの言葉を使いますよ。経済のシステムとして、資本主義という言葉を使い続ければ、それ だけ が可能なシステムではないという考えが頭に浮かぶはずです。他にもあるはずだと。私たちは、別のシステムを持つことだってできるのです。（持たなければならないのです）

私自身、1年前はこの言葉を使ってはいなかったでしょう。マルクス主義者だと烙印を押されて、耳を傾けてもらえなかったでしょうね。私はこの言葉の代わりに「腐敗した経済のシステム」という言葉を使っていました。しかし今は一言で、資本主義、私たちの問題の原因と影響を一言でつかみとれるのです。



さて、パン・ギムンに何を聞くかまだはっきりと考えられていません。2つの言葉を頭に目覚めました。緊急と資本主義。そしてたくさんの心配。デモはたくさんあり、人が繋がっていけばこのデモは増えるでしょう。しかし緊急性というのでは、まだ十分に強い意味合いにはなりません。私は仕事に出かける準備をする予定でしたが、まだだらだらとしています。心配。

やっと 30 分のヨガをして、しゃんとすることができました。Temper という単語がこのことを説明付けてくれます。鉄をより強くしなやかにする時には、鉄を打って鍛えます。(鍛える=temper) または鉄の棒を使って、叩くのですが、それが磁石となるのです。ヨガは体を強く、しなやかにしてくれます。ヨガは細胞を正常な状態にし、体のシステムを集中させてくれるのです。それが私を良い強さ(temper)にしてくれます。私が人と話すときは、一般的にその人達は私側の人間なので、何が世の中で起きているのか分かっています。しかし同時に、高収入の人達は、驚くほどに何も知らないのです。一般的にジャーナリストはそういう中で動いているわけです。そのことをしっかり覚えておかなくてははいけません。大衆は、マスコミに反映される以上に気にかけていますよ。

「難しい日々が続いています」という言葉を選んだ後、詩のような物を作りました。私が仕事に就いたのは、正午でした。

URGENT!

These are difficult days
We must save the world—now.
Or lose
The change from Capitalism to a
green economy is easy
We know what to do
What's good for the planet
Is good for people
Vote Green.

Vivienne Westwood ♡

緊急！難しい日々が続いています。私たちは今世界を守らなければなりません。さもないと失ってしまうでしょう。資本主義からグリーン経済へと変えることは簡単です。そのためにすべきことを私たちは知っています。地球に良い物は人にも良い物です。グリーンに投票しましょう。

昼食にしました。レタス、ビーツ、卵とウォルナッツのサラダです。ドレッシングはニンニク、レモン、オイル。私はいつも生野菜を会社を持って行き、それをランチにしています。良い食事法（そしてスリムでいる）秘訣は、いつでもできる限り自分で食事を用意することです。

パン・ギムンにリーフレットを送りました。そうすれば会う前に読むことができるでしょう。

アンドレアスは仕事でイタリアに行っています。ゴールドレーベルの準備です。そこから彼は列車で家族に会いに行き、ハロウィーンと諸聖徒日を家族で祝う予定です。

その日は邪魔が入らないよう、レッドレーベルの生地割り当てに専念しました。プリントに私の「詩」を載せ、私のカルチャーとハートの絵を刺繍として使うことになり満足しています。本物の文化（消費ではありません）の必要は、私の活動の半分を占めています。その日の最後を、私は嬉しい気持ちで迎えました。



スコットランド独立の国民投票にとっても大きな期待を抱いていた、9月の初めに戻りましょう。

9/1（月）：スコットランドファッションカウンシルから功績を表彰されました。私のタータンチェックへの思いが、この表彰に大きく関わっているのです。私はスピーチで、賛成投票することへの重要性について話しました。私が解析した、**資本主義の終焉**を皆さん読む必要がありますよ。そうしたらここでまたもう一度説明しなくても済みますから。私は民主制というアイデ

ィアについて全力を注ぎました。イングランドでは、主要な政党はどれも同じなのです。だから民主制がありません。私はこう言いました。私たちイギリス人は、政府と戦わなければなりません。皆さん方、スコットランドは、皆さん方が欲しい政府を選ぶことができるのです。スピーチの後に、若いスコットランド人とイギリス人の子達がスピーチのお礼を言いに来てくれたのが印象深かったです。その子達はスコットランドの独立に賛成で、理由も分かっていました。ポール・ウェラーの息子さんと娘さんは、民間銀行の目的について全て知っているようでした。



"WHAT'S GOOD FOR THE PLANET IS GOOD FOR THE ECONOMY"
"WHAT'S BAD FOR THE PLANET IS BAD FOR THE ECONOMY"

What's good for People is good for the planet.

政府が私たちを捕えている、その資本家たちの罠を、スコットランドはオープンにし、人の力による真の価値ある経済を築くことができたのです。

イギリスは小さな島ですが、その信用性は絶大なものです。幸運にも、歴史的に、地理的に、経済的にも世界の中心であり、英語を話します。それら全てはアメリカが欲しがる物です。賛成投票は世界中に激震を送ることができたでしょう。スコットランドは私たちの惑星を守る触媒になり得たのです。

私たちには選択の余地がありません。しかし新しい経済を築くために、再生可能なエネルギーを使うことから始めることができます。そうしなければ、気候の変動が暴走し、私たちを飲み込んでしまうでしょう。

9/14（日）：ロンドンでレッドレーベルのショーでした。モデルはスコットランドの国民投票に向けて、「イエス」（賛成投票）のバッジを付けました。タイトルは、イギリスでのデモクラシー（民主制）でした。



DemOCRACY IN THE U.K.



9/4 (木) : トリリオン・ファンドが太陽光を使ったパーティーを開催。スピーチをします。（「[資本主義の終焉](#)」と同じ内容です。）

9/6（土）：シャミが自宅でパーティーを。彼女の友人との会話を楽しみました。特にサンディー・トクスヴィッグと、妻のデビー。いつも通り、私はみんなに、気候の変動を止めなければということを話しました。



デビーとサンディーの結婚。ヴィヴィアン・ウエストウッドを着用して。

9/10（水）：私の自伝の発売に向けて、インタビューをこなし始めなければなりません。今回はテレグラフです。友人のクリッシー・イレイとのインタビューでしたから、とても楽しかったです。彼女とはおそらく 20 年ほど会っていませんでした。彼女は一番初めに私のファッションに興味を持ったジャーナリストのうちの一人です。彼女のことはキングズ・ロードの小さなショップで働いていた頃から覚えています。常連のお客さんとして服を買ってくれていました。その当時買った服を全てまだ来ているそうです。インタビュー時も当時の服を着てくれていたのですが、本当によく似合っています。

インタビューの後、私は階下へ行き、クリスティーナ・ヘンドリックスに合流しました。彼女はハリウッドのレポーターが、レッドカーペットで誰がどのデザイナーの何を着てとこいう写真に、私たちのガウンを着てくれました。アンドレアスも何とか私たちに合流できました。クリスティーナの夫で、

俳優のジェフリーは、政治的なテレビドラマの役を楽しんでいるようです。二人とも幸せなカップルだわ。

9/17（水）：国民投票の前夜にスコットランドへ。チャンネル4のジョン・スノウが司会を務める投票に関するディベートに出演するため。賛成投票の可能性が、この国民投票は、私の全人生の中でもっとも重要なイベントになると思わせてくれました。見込みのあるこの問題が変化へと導いてくれるでしょう。そして変化は、人類史上で今ほど必要とはされてきませんでした。

テレビのディベートでは、私たち独立賛成派が勝ちました。良いですか、けど？

ローラと私、そして2、3組のゲストが、ホテルでお酒を飲みました。興味深い会話でした。

翌朝かなり早くに私たちはスコットランドを発ちました。今となっては評決については気にもしませんが、このありえそうなイベントにとってもたくさんの配慮と思いを注ぎ込んできました。—酷く疲れました。

その後、もしスコットランドが独立したら素晴らしかったでしょうに！と思うと、やはり気になってしまいました。私自身、以前から、起こり得ない何かを準備することができたと思います。

アレックス・サーモンドは真のヒーローですよ。この投票に対してとてもおかしい理由が挙げられました。「スコットランドの政治家達が勝った場合、ウエストミンスター政治家達みたいに酷くならないなんてどうして分かるの？」賛成投票がソーシャルメディアと若い人達の間では優勢でした。その勝利が消えることはないでしょう。

9/21（日）：テンプル、エンバンクメントから国会議事堂までの[クライメイ
ト・マーチ（気候変動のデモ行進）](#)。私はピーター・ガブリエルとエマ・トンプソン、ピーター・タッチェルと一緒に、マーチの先頭にいました。

（Avaaz がほとんどをオーガナイズしました）私の職場からも多くの人達が参加しました。シンディーとペピがこのマーチに参加するよう取り計らい、プラカードを用意してくれました。ありがとう。先頭にいた私が目的地に着き、（いつもと同じ）スピーチをするまでに、テンプルをまだ出発していない人達もたくさんいました。約4万人が参加したと言われています。次回はハイド・パークでしましょうよ、もっと同志がいるわ。

私はカイ・グバングボラと並んで歩きました。彼は足が麻痺しているため車椅子に乗り、妻のニコルがそれを押していました。皆さんは彼らの息子ゼインについて聞いたことはありますか？ゼインは2月のイングランド地方の洪水で、シアン化ガスを含有する水が、自宅に流れ込み、それが原因でその晩亡くなりました。シアン化ガスは同様に、父親であるカイの神経を滅茶苦茶にし、麻痺状態にしたのです。シアン化ガスの危険性についてはかなりよ

く知られていますが、今までに聞いたことがありませんでした。当局はこのシアン化物を近くのゴミ処理場に捨てることに同意していました。政府は責任を逃れ、何の説明も手助けもしません。私たちに何ができますか？



ゼイン・グバングボラ。7歳。サーリーで起きた洪水の結果シアン化水素中毒により死亡。

フラッキングは必然的に水や土、空気を汚染するという証拠は全て揃っているのに、政府はフラッキングを私たちに押し付けようとしています。そういう時に、私たちは政府のゼインに対する態度を思い浮かべるべきですね。

9/24（水）—27（土）：土曜日のゴールドレーベルのショーのためパリへ。
テーマは**エンド・エコサイド（環境破壊を終わらせよう）**。



プログラム・ノート：同じことを繰り返し言っているのは知っていますが、ヘアーはサム、メイクはヴァル、音楽はドミニク、照明はトニー。ネイルをいつもしてくれるマリオンも言っておいた方がいいわね。お陰様でとても楽にさせてもらっています。



ドミニク・エンリック。私たちのショーの音楽を作っています。

ショーは良い反響でした。もちろん私も大好きでした。

私たちは、パリに2、3泊しました。素敵でしたよ。ヤスミンの小さなショップが正式にオープンしました。彼女はスタイリストの他、ヤスミン・エスラミという名前で下着のデザインをしています。とてもか弱く、だけどタ

フで、かわいいですよ。アンドレアスや私も含め、みんな彼女のことが大好きです。いつも笑っているのよ。

ジャックマーレ＝アンドレ美術館にペルジーノの展覧会に行きました。かなり素晴らしかったです。ナショナル・ギャラリーにも、彼の作品がいかに偉大かという例があります。なぜならば、ペルジーノはラファエルをインスパイアしたからです。ラファエルの絵も展示されていました。ラファエルの絵の方がより深いですね。どうやったら何でもそんなに深いところまで描けるのかしら、信じられないわ。アンドレアスは急に断言しました。誰もラファエルみたいには描けないと。



セインズベリーで5年前に買った鉢植えです。取説の最後の言葉が「植物を捨てないで」でした。捨てませんでしたし、購入以来毎年花を咲かせます。白鳥形の花瓶です。